

11

記録データの出力

記録したデータの確認と出力をおこないます。

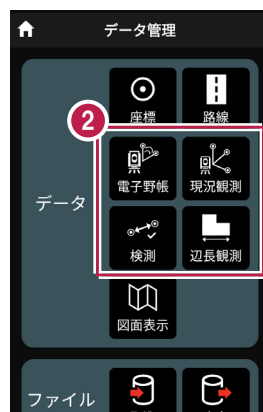
出力したデータファイルが、Windows のエクスプローラーで表示されない場合は以下の操作をお試しください。

- ・ エクスプローラーで「最新の情報に更新」をおこなう。（F5キー押下）
- ・ USBケーブルを一旦抜いて差し直す。
- ・ 端末（スマートフォン）を再起動する。

11-1 記録したデータを確認する

電子野帳、現況観測、検測、辺長観測で記録したデータを確認します。

- 1 ホーム画面の
「データ管理」をタップ
します。
- 2 「データ」の「電子野帳」
「現況観測」「検測」
「辺長観測」の各ボタンを
タップして、記録したデータを
確認します。



[電子野帳]

← 電子野帳

器械 3-31

対向/方向/正反/ 点名/目標高	↔	水平角/鉛垂角/ 斜距離
1-1-正		0° 01' 05"
● 3-30		89° 47' 05"
1.400		-----
1-2-正		141° 42' 50"
● 4-82		90° 08' 20"
1.400		52.078
1-2-反		321° 42' 40"
● 4-82		269° 51' 55"
1.400		52.078
1-1-反		180° 00' 50"
● 3-30		270° 13' 10"
1.400		-----

器械点詳細 器械点削除 平均・精度確認 視準点訂正

[現況観測]

← 現況観測

器械 1:4-88

点名/ 観測方法/目標高	水平角/鉛垂角/ 斜距離
4-85	0° 00' 00"
● 後視	90° 04' 15"
1.530	-----
G1	220° 32' 40"
● 通常	90° 59' 35"
1.530	18.286
G2	219° 25' 45"
● 通常	90° 12' 25"
1.530	17.983
G3	217° 24' 40"
● 通常	90° 11' 30"
1.530	17.524

器械点詳細 器械点削除 視準点訂正 視準点削除

- [器械点詳細] : 器械点の詳細を表示します。
 [器械点削除] : 器械点を削除できます。
 [平均・精度確認] : 平均・精度を確認できます。
 [視準点訂正] : 視準点を訂正できます。
 [視準点削除] : 視準点を削除できます。

[検測]

← 検測

始点/ 終点	⊕ 較差	水平距離/高低差/ 斜距離
● T.1 K1		-0.001
● T.1 K2		0.000
● T.1 K3		0.000
● T.1 K4		0.000
● T.1 K5		0.000

平面 精度管理 削除

[辺長観測]

← 辺長観測

<input type="checkbox"/>	水平距離/高低差/斜距離
<input type="checkbox"/>	15.243
<input type="checkbox"/>	0.090
<input type="checkbox"/>	15.243
<input type="checkbox"/>	25.826
<input type="checkbox"/>	0.067
<input type="checkbox"/>	25.826
<input type="checkbox"/>	25.826
<input type="checkbox"/>	0.067
<input type="checkbox"/>	25.826
<input checked="" type="checkbox"/>	6.668
<input type="checkbox"/>	1.240
<input type="checkbox"/>	6.782

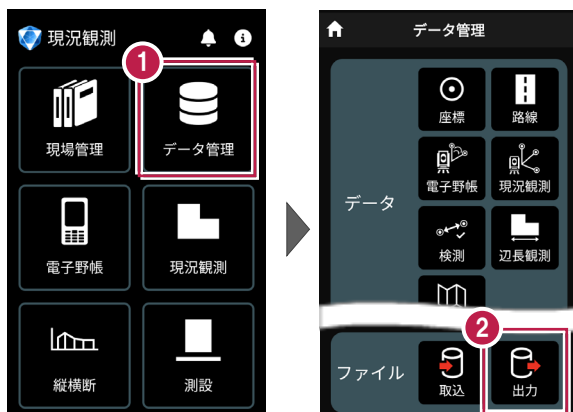
削除

- [平面] : 平面で確認できます。
 [精度管理] : 精度管理を確認できます。
 [削除] : データを削除できます。

11-2 座標データ（SIMA）を出力する

現場データ内の座標データを、SIMA形式で出力します。

- 1 ホーム画面の
「データ管理」をタップ
します。
- 2 データ管理画面の
「ファイル」の「出力」を
タップします。



- 3 「座標（SIMA）」を
選択して「次へ」をタップ
します。
- 4 測地系を選択します。
- 5 現場データ内の座標データ
をすべて出力する場合は
「全て」を選択します。
- 6 「次へ」をタップします。



座標データを SIMA 形式で出力する場合は

測地系設定で測地系（「省略」「測地成果2011」「測地成果2024」）を選択できます。



座標データを CSV 形式で出力する場合は

データ出力で [座標 (CSV)] を選択して [次へ] をタップします。

出力されるのは、以下の項目です。

・座標 (CSV) ……点名,X座標,Y座標,Z座標,属性,計測日時,目標点名,目標X座標,目標Y座標,目標Z座標,差 (水平距離) [単位:mm],差 (鉛直距離) [単位:mm],差 (斜距離) [単位:mm]

※座標値の丸めは [設定] - [現場共通] - [桁設定] の [X/Y座標] [Z座標] の座標の丸めを使用します。([座標 (SIMA) も同様です。)

- 7** 端末内のフォルダーに出力する場合は [指定フォルダー] を選択して [次へ] をタップします。

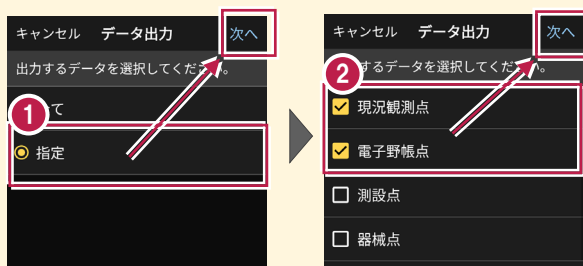
- 8** ファイル名を指定して [実行] をタップします。
Import_Exportフォルダーに座標データが出力されます。



座標データを選択して出力する場合は

[指定] を選択して [次へ] をタップします。

出力する座標データの属性のチェックをオンにして [次へ] をタップします。

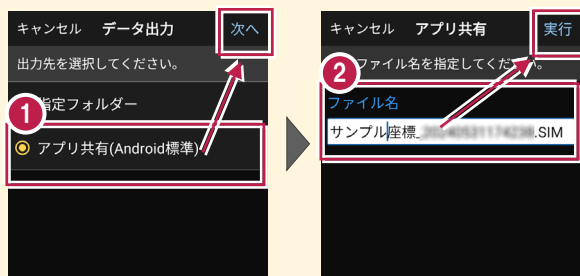


アプリ共有 (クラウドストレージやメールなど) に出力する場合は

[アプリ共有] を選択して [次へ] をタップします。

ファイル名を指定して [実行] をタップします。

出力先 (共有先) のアプリを指定すると座標データが出力されます。



11-3 FC連携データを入力する

現場データ内のFC連携データを、MTO形式で出力します。

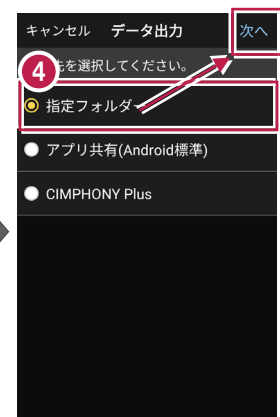
- 1 ホーム画面の
「データ管理」をタップ
します。

- 2 データ管理画面の
「ファイル」の「出力」を
タップします。



- 3 「FC連携」を選択して
「次へ」をタップします。

- 4 端末内のフォルダーに出力
する場合は、
「指定フォルダー」を選択
して「次へ」をタップします。



- 5 ファイル名を指定して
「実行」をタップします。

Import_Exportフォルダー
に座標データが出力されます。



書き込む座標データは
「6万5千点以下」にし
てください。

ONEの測点数の制限
(6万5千点)を超えて
いる座標データはMTO
ファイルには出力されま
せん。

11-4 観測データ（APA）を出力する

現場データ内の観測データを、APA形式で出力します。

- 1 ホーム画面の
「データ管理」をタップ
します。



- 2 「データ出力」をタップ
します。



- 3 「観測（APA）」を選択
して「次へ」をタップします。



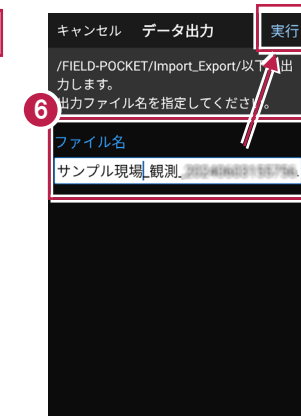
- 4 出力するデータを選択して
「次へ」をタップします。



- 5 端末内のフォルダーに出力
する場合は、
「指定フォルダー」を選択
して「次へ」をタップします。



- 6 ファイル名を指定して
「実行」をタップします。
Import_Exportフォルダー
に観測データ（APA）が
出力されます。



11-5 現場データ（PKZ、PKZS）を出力する

FIELD-POCKETオリジナルの現場データ（PKZ、PKZS）を出力します。

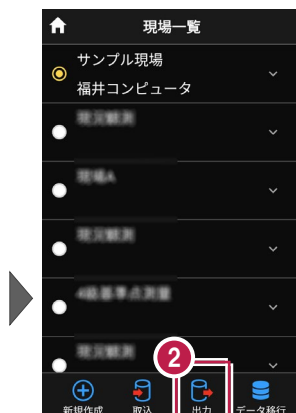
PKZ、PKZS ファイルを他プログラムで読み込むことはできません

PKZファイルは、他のスマートフォンのFIELD-POCKETとの現場データの受け渡しなどに使用します。TREND-ONEなど他プログラムで読み込むことはできません。

- 1 ホーム画面の「現場管理」をタップします。



- 2 「出力」をタップします。



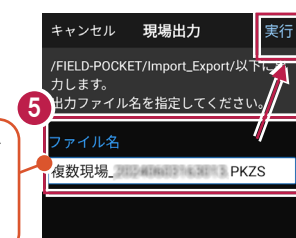
- 3 出力する現場を選択して「次へ」をタップします。



- 4 端末内のフォルダーに出力する場合は、「指定フォルダー」を選択して「次へ」をタップします。



- 5 ファイル名を指定して「実行」をタップします。



Import_Exportフォルダーに現場データ（PKZまたはPKZS）が出力されます。

拡張子は選択した現場が1つの場合はPKZ、複数の場合はPKZSになります。